

町田市立図書館の資料購入費の増額を求める請願

<請願要旨>

公立図書館は、市民の知る自由や学習権を保障する社会インフラとして、きわめて重要な施設です。それはまた、地方行政に主体的に参画しようとする市民が、自ら考え、判断する際に必要となるあらゆる資料・情報を提供する機関として、自治体のもっとも基礎的な「社会的共通資本」のひとつです。

図書館が図書館として機能するためには、①施設・設備、②蔵書、③職員の3つの要素が十分に確保されていなければならない、と言われます。特に③の司書職員が果たす役割は大きなものですが、それと同時に②の蔵書、つまり図書館資料が重要であることは言うまでもありません。図書館にはあらゆる分野の資料が豊富に備えられ、それが常に新鮮に維持されてこそ市民は必要な図書館サービスを楽しむことができます。そのためには、一定の資料購入費が毎年継続的に措置されることがどうしても必要です。

ところが、ここ数年の町田市立図書館の資料購入費は、近隣自治体に比べて極端に少ないのが実態です。

「令和4年度東京都公立図書館調査」(東京都立図書館)によれば、今年度の町田市の市民1人当たり資料費総額(図書費+雑誌・新聞費+視聴覚資料費など)と図書費は、ともに東京23区と多摩26市を合わせた全49自治体の中で最低となっています(裏面グラフ参照)。

町田市の市民1人当たりの資料費総額は106円、図書費は80円で、いずれも23区平均(資料費総額310円、図書費226円)、26市平均(同306円、同230円)の三分の一強という惨憺たる有様です。因みに、図書館全体の経費(図書館費)を見ても、町田市は49の区と市の中で、低い方から7番目であり、そもそも他の自治体に比べて、町田市は図書館にあまりお金をかけていないことが明らかです。

これでは市民は十分な図書館サービスを楽しむことができません。2022年度に実施された「図書館利用者アンケート(総合満足度抜粋版)」でも、「不満」「やや不満」の理由として「新刊が少ない」「蔵書数が少ない」「予約待ち時間が長い」という声が各館で挙げられています。

私たちは、町田の図書館が十分にその機能を発揮できるよう、資料購入費が次のように増額されることを強く求めます。

<請願項目>

町田市立図書館の資料購入費、特に図書費を多摩地域の平均金額230円(市民1人当たり)を目標に速やかに増額してください。

2023年9月

町田市議会議員 戸塚 正人 様

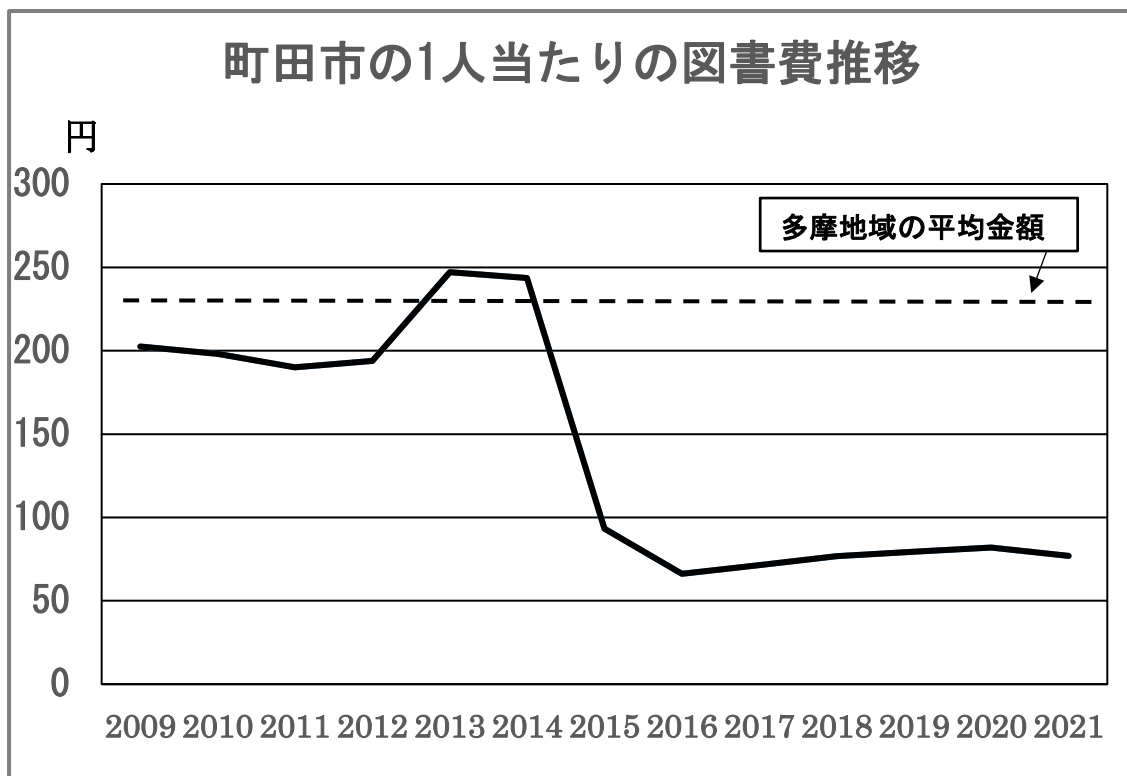
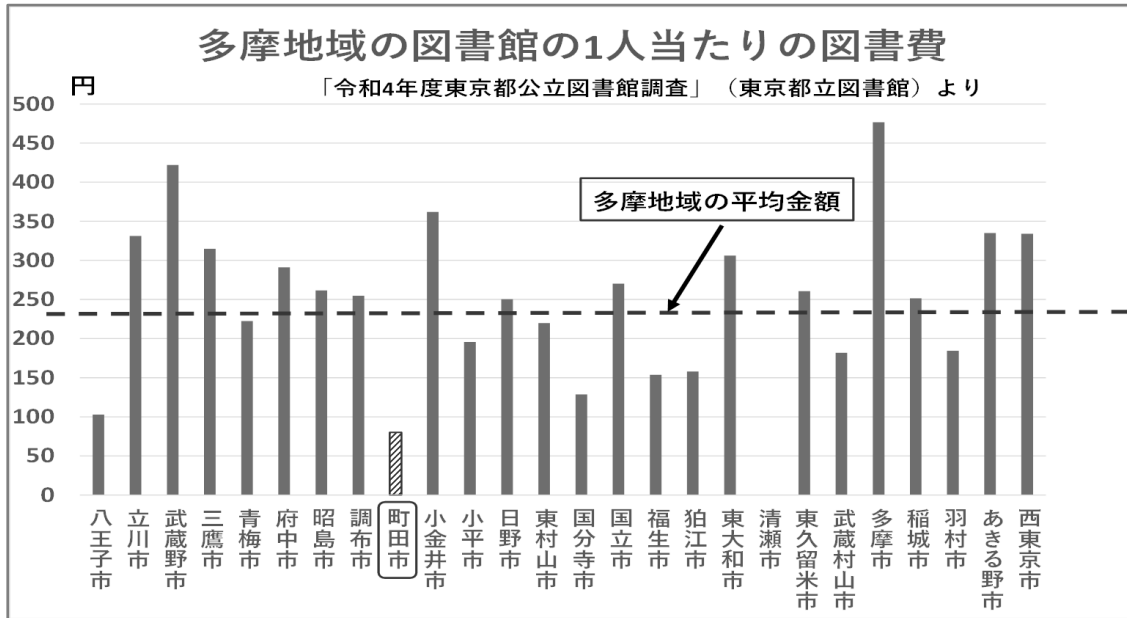
請願者：町田の図書館活動をすすめる会代表 手嶋 孝典

| 住 所 (都道府県名から) | 氏 名 | 押印 (代筆の場合のみ) |
|---------------|-----|--------------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

署名簿送付先/問合せ：〒195-0064 町田市小野路町5336-7 藺田碩哉 電話090(4703)8878
締め切り：2023年8月末日までに、最寄りの町田の図書館活動をすすめる会会員に手渡していただくか、上記藺田宛にご郵送いただければ幸いです。

私たちもこの趣旨に賛同し、請願者として参加しています！

鶴川図書館大好き！の会：代表 富岡 秀行／町田の学校図書館を考える会：代表 水越規容子／まちだ未来の会：代表 藺田碩哉／NPO 法人まちだ語り手の会：代表 増山正子／柿の木文庫：代表 志村妙子／図書館友の会全国連絡会：代表 阿曾千代子／東京町田ペンクラブ：代表 今福克保／町田に公民館をふやす会：代表 倉敷町恵／町田地方史研究会：代表 小島政孝／・・・（順不同）



「町田の図書館活動をすすめる会」とは！

1984年4月以来、40年近く町田市立図書館の充実を求めて活動している市民団体です。会員は、図書館を愛する一般市民や元町田市立図書館職員、図書館学研究者などで構成されています。会報「知恵の樹」の発行のほか、読書や図書館に関する講演会・学習会などを随時開催しています。詳しくは、当会ホームページ <https://machida-library.jimdofree.com/> をご覧ください。